

# Oracle JDeveloper

## おもな機能

開発のライフ・サイクル全体に対応  
視覚的な開発と宣言型の開発  
標準ベースのアプリケーションの作成  
統合開発フレームワーク  
開発スタイルを選択可能

## おもな利点

開発者の生産性を向上  
高品質のアプリケーションを作成  
ツールのポートフォリオを簡素化  
オープンな標準ベースのアプリケーションを作成

Oracle JDeveloper は、開発のライフ・サイクル全体を対象とし、複数の機能を統合して、Java ベースのエンタープライズ・アプリケーションの構築に使用される多数のテクノロジーに対応する非常に生産性の高い開発環境を実現します。

## 統合開発環境

Oracle JDeveloper では、Java、Web、モバイル、Web サービス (REST と SOAP)、およびデータベースの開発機能が1つの開発ツールに統合されています。さまざまなアーティファクトで同一のプロジェクト構造と開発作業が共有されることで、学習期間が短縮されて、多数のテクノロジーを活用する複合アプリケーションの開発プロセスが簡単になります。

さらに Oracle JDeveloper は、Oracle SOA Suite、Oracle WebCenter Portal、およびオラクルのBIソリューション含む Oracle Fusion Middleware 製品のさまざまなコンポーネントの開発環境として機能します。

## ライフ・サイクル全体のサポート

Oracle JDeveloper は、開発のライフ・サイクル全体を対象としています。初期の設計および分析の段階からコーディングおよびテストの段階、さらにはデプロイメントまで、開発の全工程が含まれます。開発者は、UML、Java、およびデータベース・ダイアグラムを使用して、コードを設計、生成、および視覚化できます。高度なコーディング環境と、宣言型エディタおよびビジュアル・エディタによって、コード開発を迅速に実行できます。統合されたテスト機能、プロファイリング機能、コード監査機能により、アプリケーションの品質が保証されます。バージョン管理、構築、および開発の各ツールとの統合によって、IDE と自動プロセスのいずれからでもアプリケーションをパッケージ化およびデプロイできるようになります。

Oracle JDeveloper を使用すると、多くのバージョン管理ソリューションとの統合や、完全なライフ・サイクルの追跡とチームのコラボレーションのための Oracle Developer Cloud Service との統合を介して、より高度なチーム開発を実現します。

## 視覚的手法および宣言型手法

Oracle JDeveloper では、アプリケーション開発に視覚的手法と宣言型手法を提供しており、開発者の生産性向上に重点を置いています。ビジュアル・エディタ、プロパティ・インスペクタ、構造ペイン、および編集ダイアログの組み合わせによって、面倒なコーディングが軽減されます。これらの宣言型機能により、アプリケーションを構築するコンポーネントを簡単に定義できます。また、アプリケーションのコードは常に直接操作できます。宣言型手法と、コード内を直接操作する方法のいずれかを使用してコードを変更できます。変更は両方に同時に反映されます。



図1：視覚的な開発と宣言型の開発

## 生産性を向上させる開発フレームワーク

Oracle JDeveloper は、Oracle Application Development Framework (Oracle ADF) 用の開発環境です。Oracle ADF は Java Platform, Enterprise Edition 上に構築されたエンド・ツー・エンドの開発フレームワークであり、他に例を見ない生産性をもたらします。このフレームワークは、データ・アクセス、ビジネス・サービス開発、コントローラ・レイヤー、リッチ Web、モバイルおよびデスクトップ・インタフェース、データ・バインディング、セキュリティを含むアプリケーションの各種レイヤー向けの統合インフラストラクチャ・ソリューションを提供します。

Oracle JDeveloper には、ビジュアル・エディタと宣言型エディタを介した Oracle ADF ベースのアプリケーションの開発を簡素化する機能が備わっています。

## 完全な開発ツール

Oracle JDeveloper では、次のテクノロジーに対応する特定の機能を含む複合アプリケーションの開発に必要なテクノロジーが統合されています。

### Java

Oracle JDeveloper は、Java SE と Java EE の両方に対応する完全な開発環境を提供します。コード・インサイト、コード補完、リファクタリング、コード・アシスト、ライブ・コード監査、クイック Javadoc、およびその他多くのショートカットを含む高度なコード・エディタにより、コーディング作業を迅速化できます。最先端のデバッグ、コード監査機能、プロファイラ、および JUnit ベースのテスト機能の統合により、高品質のコードの実現が保証されます。JDeveloper には、ビジュアル・エディタ、宣言型ダイアログ、およびモデラーが備わっており、これらは Java EE アーティファクトの迅速な作成に役立ちます。

開発者は、組み込みの WebLogic Server を使用して、Java EE アプリケーションを開発環境内から直接実行、テスト、およびデバッグできます。

### データベース

JDeveloper には、Oracle データベースと Oracle 以外のデータベースのいずれにも対応する完全なデータベース開発環境が組み込まれています。データベース・モデラーにより、フォワード・モデリング、リバース・モデリングおよびリレーショナル・データベース構造のレポート作成が可能になりました。さらに、統合された SQL Developer の機能により、データベース参照、オブジェクトの定義と操作、および問合せ実行を実施できます。統合 PL/SQL エディタでは、Oracle データベース内の PL/SQL ストアド・プロシージャに対応する高度なコーディングとデバッグの機能を利用できます。

### Web

JDeveloper には、簡単なドラッグ・アンド・ドロップ・ジェスチャによる Web ページ設計用の視覚的な HTML 5 エディタがあります。コード・インサイト機能とリファクタリング機能が備わっている JavaScript エディタと、CSS 3 エディタは、機能が豊富な Web ページの正しい設計の実現に役立ちます。HTTP モニターで、ブラウザとサーバー間のネットワーク・トラフィックを追跡できます。

Java Web 開発者は、JDeveloper を利用して、JSP と JSF の視覚的編集をサポートするように視覚的な HTML エディタを拡張できます。また、これらの Java アーティファクトのコーディング中にコード・インサイトを利用できます。JDeveloper には、JSF ページフロー・ダイアグラムと JSF 構成ツールも含まれており、これらを使用してコントローラ・レイヤーを簡単に定義できます。

### SOAP および REST の Web サービス

JDeveloper を使用すると、Web サービスの作成と消費が簡単になります。宣言型ダイアログにより、簡単な Java クラス、EJB、およびデータベースの処理で格納されたビジネス・ロジックからの REST および SOAP Web サービスの公開が効率化します。追加のウィザードで、既存の Web サービスの構造を分析し、サービスの操作を簡素化するプロキシ・コードまたは ADF データ・コントロールを生成することで、既存の Web サービスを効率的に消費できます。視覚的な WSDL エディタ、トップダウン型の Web サービス生成、XML スキーマ・ダイアグラム、Web サービス・テスターなどの追加の機能が、SOA アーキテクチャでアプリケーションを統合するうえでさらに役に立ちます。

## モバイル

Oracle JDeveloper では、オンデバイス・モバイル・アプリケーションと Web モバイル・アプリケーションの両方の開発が可能です。Oracle Mobile Application Framework との統合により、開発者は iOS および Android のオンデバイス・アプリケーションを JDeveloper IDE から直接構築できます。プラットフォーム固有の SDK との統合によって、Oracle JDeveloper からエミュレータおよびデバイスへの直接のデプロイメントおよびデバッグが可能になりました。

## Oracle Fusion Middleware

Oracle JDeveloper は、Oracle SOA Suite、Oracle WebCenter Suite、および Oracle BI に対応する特定の拡張機能を含む Oracle Fusion Middleware 用の開発環境です。

開発者はダイアグラムを使用して BPM プロセス、BPEL プロセス、および ESB プロセスを構築できます。また、宣言型エディタにより、Oracle SOA Suite のビジネス・ルールを簡単に定義できます。これらはすべて、JDeveloper 内から実行できます。JDeveloper の Oracle ADF を使用すると、Business Activity Monitoring および Human Workflow 用のリッチ Web インタフェースを迅速に開発できます。

Oracle WebCenter により、ポートレットの開発および消費、コンテンツ・リポジトリとの統合、および多数の Web 2.0 サービスの機能が、Oracle JDeveloper で利用可能な機能のリストに追加されます。

Oracle BI との統合により、さまざまなデータソースの新しいレポートおよびグラフを定義できます。さらに、これらのレポートを既存の Oracle ADF ページに追加できます。

## まとめ

Oracle JDeveloper には、最先端のエンタープライズ Java アプリケーションを構築する際の生産性を向上させるために、開発者が必要とする完全なソリューションが備わっています。

# ORACLE®

CONNECT WITH US



[blogs.oracle.com/oracle](https://blogs.oracle.com/oracle)



[facebook.com/oracle](https://facebook.com/oracle)



[twitter.com/oracle](https://twitter.com/oracle)



[oracle.com](https://oracle.com)

## Integrated Cloud Applications & Platform Services

Copyright © 2015, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。本文書は一切間違いがないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的な保証を含み、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。オラクル社は本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクル社の書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴおよび AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。1015



Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment